

平成30年度政務活動費収支報告書

会 派 名 市民ネット

1 収 入

政務活動費 288,000円

2 支 出

項 目	金 額 (単位:円)	備 考
調 査 研 究 費	89,070円	嬉野市、山鹿市行政視察 交通費 61,080円 宿泊費 26,370円 手土産代 1,620円
研 修 費		
広 報 費	59,378円	プロジェクター
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費	24,851円	インク、コピー用紙等
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	173,299円	

3 残 額 114,701円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2月5日～6日

行政視察

(水津議員、森山議員分)

旅費計算書

区分	事項	JR・私鉄			船・バス 飛行機	計
		乗車券	グリーン	特急		
厚狭	～ 肥前鹿島	3,510		3,410		6,920
	嬉野市視察					
肥前鹿島	～ 新玉名	2,130		2,550		4,680
新玉名	～ 山鹿 バスセンター				760	760
	山鹿市役所視察					
山鹿 バスセンター	～ 新玉名				760	760
新玉名	～ 厚狭	3,830		4,730		8,560
	合計	9,470	0	10,690	1,520	21,680
1泊2日		運賃合計	21,680円×2人分		43,360円	
		宿泊料	8,790円×2人分		17,580円	
		総計			60,940円	

2月5日～6日

行政視察

(矢田議員分)

旅費計算書

区分	事項	JR・私鉄			船・バス 飛行機	計
		乗車券	グリーン	特急		
小野田	～ 肥前鹿島	2,680		2,380		5,060
	嬉野市視察					
肥前鹿島	～ 新玉名	2,130		2,550		4,680
新玉名	～ 山鹿 バスセンター				760	760
	山鹿市役所視察					
山鹿 バスセンター	～ 新玉名				760	760
新玉名	～ 本由良	3,000		3,460		6,460
	合計	7,810	0	8,390	1,520	17,720
1泊2日		運賃合計		17,720 円		
		宿泊料		8,790 円		
		総計		26,510 円		

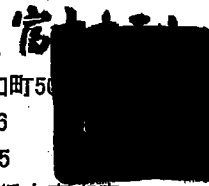
※ジパング倶楽部という割引会員に入っており、割引制度を利用したため、小野田～肥前鹿島と新玉名～本由良(実際は新玉名～小野田の利用だが、割引条件を満たしたほうが安価になるため本由良までの乗車券を購入した。)の乗車券と特急券が3割引になっている。(後で追加購入した新玉名～新大牟田の乗車券と特急券は通常料金)

元 帳



おもてなしとやすらぎの宿

熊本・山鹿温泉



熊本県山鹿市昭和町50

TEL.0968-43-4146

FAX.0968-43-3785

取引銀行: 肥後銀行山鹿支店

普通預金: No. [Redacted]

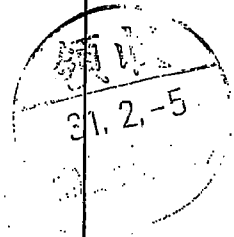
口座名義: (有)富士ホテル

御芳名 山陽小野田市議会 様

(市民ネット)

予約番号	大人	子供	その他	部屋数	料金	予約日
417	3			1	54709	2019.02.05

日付	品名	数量	単価	金額
02.05	宿泊朝食付	3	8,640	25,920 *
	入湯税	3	150	450
	** 宿泊小計 **			26,370
	*** 御利用金額 ***			26,370
	— 御支払 —			



印紙
1/1

ご署名

¥26,370

毎度お引き立て下さりましてありがとうございます。
ご不審の点は、フロント会計までお問い合わせ下さい。

領 収 証

市民ネット

様

2019年2月4日

★	7	1620-							
---	---	-------	--	--	--	--	--	--	--

但 代表金子正己

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

御菓子司・御小町
正 崇
 代表金子正己
 〒757-0012 山陽小野田市大字植生582-4
 TEL (0836) 76-0643

GR1016

領 収 書 市民ネット

様

Receipt
 領収年月日 2019.-2.-1

金額 ￥39,930 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(50117 15枚)
 西日本旅客鉄道株式会社

厚狭駅
 厚狭駅F2発行

60118-02

印紙税申告納
 付につき大定
 税務署承認済

領 収 書 市民ネット

様

Receipt
 領収年月日 2019.-2.-5

金額 ￥14,040

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(20093 9枚)
 九州旅客鉄道株式会社

肥前鹿島駅
 肥前鹿島駅-R発行

30094-02

印紙税申告納
 付につき博多
 税務署承認済

領 収 書 市民ネット

様

Receipt
 領収年月日 2019.-2.-6

金額 ￥2,550 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(枚)
 西日本旅客鉄道株式会社

厚狭駅
 厚狭駅F3発行

60027-02

印紙税申告納
 付につき大定
 税務署承認済

山陽小野田 領 収 証
市議会 市民ネット

NO:0611040
2019年02月20日

¥17,996- (金額現金支払)
(入金分消費税等 1,333円を含む)

但し、お買上レシートNo.006-44591 品代



お買上店舗
ナフコ小野田店 TEL:0836-83-0725
株式会社ナフコ
本社：福岡県北九州市小倉北区魚町2-6-10

領 収 証

山陽小野田市議会市民ネット 様 No. _____

★ ¥59,378-

但し、お買上レシートNo.006-44591
2019年 2月 15日 上記証に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)



エディオン厚狭店
株式会社コウコウ電
代表取締役 村岡 晃
山陽小野田市大字鴨庄11番
TEL 0836-72-1148
FAX 0836-72-2102

領 収 証

山陽小野田市議会市民ネット 様 No. _____

★ ¥6,855-

但し、お買上レシートNo.006-44591
2019年 3月 7日 上記証に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)



エディオン厚狭店
株式会社コウコウ電
代表取締役 村岡 晃
山陽小野田市大字鴨庄11番
TEL 0836-72-1148
FAX 0836-72-2102

会派「市民ネット」

視 察 報 告 書 ①

1. 視察日 平成 31 年 2 月 5 (火) 13 時～15 時
2. 視察先 佐賀県嬉野市
3. 調査事項 「議会だよりの編集について」
4. 参加者 矢田松夫・水津 治・森山喜久
5. 視察の目的

当市の議会だよりを推進するため、町村議会広報表彰の受賞歴のある嬉野市議会だよりの先進地視察（旧嬉野町は全国の町村議会だよりコンクールで 2 位の実績あり）。

発行に当たっては、住民の視点に立って見やすく分かりやすい表現にすることや、一人でも多くの方に理解いただけるような記事の内容作成を心がけている。また、議会報告会（議員とかたろう会）時に、議会の活動内容を伝える上でのツールとして使用。

6. 嬉野市の議会だよりは

1) 編集形態

○スケジュールについて：

- 一般質問後 7 日以内に議事録が配布され、それを基に各議員が原稿を委員会へ提出
- 委員会は、議会終了後翌日から約 1 週間開催され、第 1 稿の原稿を作成し、業者へ提出
- 業者から再校原稿が約 1 週間程度で提出され、その校正を行い再度業者に提出
- 再々校原稿も同様に行われ、校了し、印刷製本
- 納品は校了から約 7 日で納品

・作業配分について：

編集作業：定例会が月末に閉会するため、翌月第 1 週くらいまでのうち約 1 週間で作業

第 1 回校正：第 2 週

第 2 回校正：第 3 週目

■予算

年間予算：1,814千円（印刷製本費）

■配布の形式

各行政区毎の行政嘱託員により各世帯に配布。9,500部作成

7. 考察

これら一連の作業を議員の方々が「手作り」で編集作業をされていました。その役割の選定も、18名の全議員のうち、正副議長を除いた議会広報編集特別委員会（7人）と議会活性化特別委員会（7人）に分けており、事実上全員参加の議会だより編集作業となっていました。

また、4年の任期のうち、2年おきに特別委員会の再編成が行われ、それぞれの役割分担が変わるため、冊子自体の構成・特徴も大きく変化しておりました。それも版数を重ねるごとにグレードアップをしており、写真のジャンル選定や大きさ、文字の入れ方など、少しでも市民に親しみのある・分かりやすい構成にしようという意気込みを感じました。

会派「市民ネット」

視 察 報 告 書 ②

- 1、視察日 平成 31 年 2 月 6 日（水）午前 9 時～午前 11 時 30 分
- 2、視察先 熊本県山鹿市
- 3、調査事項 「空家バンク制度」
- 4、参加者 矢田松夫・水津 治・森山喜久
- 5、視察の目的

本市の空家対策については、平成 25 年 1 月 1 日に「空家条例」が制定され、その後、空家法が平成 27 年 5 月 26 日に全面施行された。この国の法的根拠に基づき本市の条例が、平成 29 年 6 月 30 日に全面改正された。これらの経緯を踏まえ、空家等対策を総合的かつ計画的に推進し、市民の生命、身体又は財産を保護する目的を持って「山陽小野田市空家等対策計画」が、平成 30 年 10 月に示された。

本市は、空家対策の推進や活用促進はこれからであるが、とりわけ、住めなくなる前の「空家」をどのようにして「売り手」と「買い手」とのマッチングを行政が執行していくのか、成果をあげている山鹿市にて具体的な取組について学ぶことにした。

6、山鹿市の空家対策（空家バンク制度）は

- 1) 市防災管理課→総住宅戸数は 23, 080 戸のうち、空家戸数は 3, 770 戸把握をしているが、空家対策計画の実行そのものは防災管理課が所管している。
- 2) 地域生活課→空家所有者（売りたい・貸したい）と、空家利用希望者（買いたい・借りたい）を登録させる。契約交渉は、山鹿市と契約を結んだ宅建業協会が行う。登録させるための業務を、地域生活課で所管をしている。主に、地域おこし協力隊員（3 年任期）が担当をしている。ここでは、増え続ける空家を減少させる対策として、住めるうちに利用登録者を増やす事業をしている。
- 3) 空家バンク活用促進事業補助金（50 万円限度）制度を活用し、登録促進、有効活用、市内への円滑な移住を図っている。
- 4) 空家バンク制度の現状として、平成 25 年度～30 年度まで 218 名の利用申請があるものの、空家登録件数が増えない。つまり、空家として財産「放棄」しないで「放置」し続けることにより、住めない・売れない家へと悪い連動となっている。その対策として、空家実態調査や納税通知書封筒裏面